

CAL
EA947
B71
#12 - 1989
DOCS

カナダニュース

Canada



発行 カナダ大使館

〒107 東京都港区赤坂7-3-38

■カナダ大使館へのお問い合わせは
下記へお願いします。

本館 (03)408-2101

商務部・経済部・政治部

広報部・領事部 他

投資振興部 (03)479-0921~2

科学技術室 (03)479-5855

トラベル・インフォメーション

(03)479-5851

査証部 (03)403-9176~8

関税消費税局 (03)400-7137~8

大阪総領事館 (06)212-4910

Dept. of External Affairs
Min. des Affaires extérieures

APR 20 1989

RETURN TO DEPARTMENTAL LIBRARY
RETOURNER A LA BIBLIOTHEQUE DU MINISTERE

12

1989年2月

ISSN 0912-0440



3 5036 01030041 9

日加科学技術協力——2

拡大する日加林産協力——3

マクリーンズ社のカナダ12傑——4

案内——5/6

建築——7/8

術館——8

IRY——9

クス——10/11

より——12

焦点

総選挙、保守党が圧勝

昨年11月21日に行われたカナダの総選挙で、マルルーニー首相の率いる進歩保守党が295議席のうち過半数の169議席を制して政権の座を守った。

これにともない、マルルーニー首相は選挙直後と1月に閣僚を入れ替えたが、クラーク外相、ウイルソン蔵相、クロスピー国際貿易相などの主要閣僚はそのまま留任した。

総選挙は、米加自由貿易協定の是非をめぐって行われたもので、選挙結果が判明した時点で、協定に異をとなえていた自由党のターナー党首および新民主党のブロードペント党首は民意に従うことを表明した。

今回の総選挙により、カナダ下院の議席配分は次のようにになった。

	1984	1988	得票率
進歩保守党	211	169	43%
自由党	40	81	32%
新民主党	30	43	20%
その他	1	2	5%
合計	282	295	100%

州別では、進歩保守党が大票田のオンタリオ州で99議席のうち47議席、ケベック州で75議席のうち63議席を獲得したほか、マニトバ州とアルバータ州で勝利を収めた。

米加自由貿易協定が発効

10年間以内に相互の関税および非関税障壁を撤廃しようという米加自由貿易協定が、予定通り、1月1日に発効した。

米国の上下両院に統いて、昨年12月30日にカナダ側が批准承認手続きを完了、これに基づいて米加両国政府が協定批准書を交換し、期限の協定発効に間に合わせた。

協定は、85年9月にマルルーニー首相が提唱し、88年1月に同首相とレーガン米大統領が調印。カナダでは自由党などが反対したため関連法案の審議が遅れたが、この協定をめぐる総選挙で野党が敗退、一挙に批准手続きが進んだ。

カナダ・
米国間の貿
易は、すでに
8割近くが無関税
となっており、協定
は残り2割の品目につい
て関税を段階的に撤廃するこ
とになる。協定では、中立的な
紛争処理機関を設けることになって
おり、反ダンピングや相殺関税など協
定にからんで問題を生じた場合、この機関
で解決が図られる仕組みになっている。

協定の成立により、カナダは2億以上の
人口を有する米国市場に完全なアクセスが
保障されることになり、その経済効果は測
り知れない、というのがカナダ政府の考え。
また同協定は、域外諸国を差別するもの
ではなく、日本などにとってむしろカナダ
を通じて全北米市場に進出できるメリット
がある。

一加政府、昭和天皇崩御に弔意

昭和天皇の崩御に際して、マルルーニー
首相は、大要次のような弔辞を発表した。

「深い悲しみに包まれておられる皇族の皆
様ならびに日本の政府および国民の方々に
対し、心から哀悼の意を表します。

故天皇陛下の長期にわたるご在任の間に、
日本国民は、20世紀最大の悲劇のひとつと
最も輝かしい成功とを経験し、戦争で荒廃
した日本を今日のような強大な民主主義國
に再建しました。故天皇陛下は日本國の象
徴として、その2千年に及ぶ文化遺産と今
日のダイナミズムをつなぐ役割を果たされ
ました。カナダは、新しい時代を迎える日
本と、今後とも協力関係を保っていく所存
です」

大喪の礼には、カナダを代表してジャン
ヌ・ソーベ総督とジョン・クロスピー国際
貿易相が出席した。

60984 81800